

事後評価概要資料

番号	2001		担当課名 道路街路課																																				
事業名	道路改築事業	事業主体	埼玉県																																				
路線・河川・地区名	一般国道299号(飯能日高バイパス)	事業箇所	飯能市・日高市																																				
事業完了年	平成29年7月	事業完了後の経過年数	1年																																				
事業概要	目的	現道の狭隘区間を迂回するバイパス整備により、安全で円滑な交通を確保するもの。																																					
	必要性	<p>一般国道299号は、長野県茅野市から埼玉県入間市へ至る延長約203kmの広域的な幹線道路であり、県内においては、県西部と秩父地域の物流を支える重要な路線である。また、第一次特定緊急輸送道路に指定されており、災害時の救命活動や物資輸送を担う道路である。</p> <p>現道は、非常に狭隘で大型車のすれ違いが困難であり、歩道もないことから、幹線道路としての機能を十分に発揮していない状況にあった。安全で円滑な交通を確保するため、バイパスの早期整備が必要となっていた。</p>																																					
	効果	安全で円滑な交通の確保や、災害時の救命活動や物資輸送路の強靱化による周辺地域の防災機能の向上が期待される。																																					
	事業内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">総事業費</td> <td style="width: 25%;">2,194百万円</td> <td style="width: 15%;">事業期間</td> <td style="width: 45%;">平成18年～平成29年度(12年間)</td> </tr> </table> <p>延長：1,500m、幅員：12.5m(2車線、両側歩道) 工種：道路改築(2車線バイパス整備)</p>	総事業費	2,194百万円	事業期間	平成18年～平成29年度(12年間)																																	
総事業費	2,194百万円	事業期間	平成18年～平成29年度(12年間)																																				
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>標準横断面図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>詳細位置図</p>  </div> </div>																																						
事後評価項目	事業の効果の発現状況	<p>① 平均旅行速度[km/h] (平日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開通前</th> <th>開通後</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現道</td> <td>28.3</td> <td>33.2</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>バイパス</td> <td>—</td> <td>45.2</td> <td>16.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 事故件数[件] (開通前：H28.7～H29.6、開通後：H29.7～H30.6)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開通前</th> <th>開通後</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現道</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>-3</td> </tr> <tr> <td>バイパス</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 交通量[台/12h] (平日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開通前</th> <th>開通後</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現道</td> <td>13,204</td> <td>753</td> <td>-12,451</td> </tr> <tr> <td>バイパス</td> <td>—</td> <td>9,256</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			開通前	開通後	差	現道	28.3	33.2	4.9	バイパス	—	45.2	16.9		開通前	開通後	差	現道	3	0	-3	バイパス	—	1	—		開通前	開通後	差	現道	13,204	753	-12,451	バイパス	—	9,256	—
	開通前	開通後	差																																				
現道	28.3	33.2	4.9																																				
バイパス	—	45.2	16.9																																				
	開通前	開通後	差																																				
現道	3	0	-3																																				
バイパス	—	1	—																																				
	開通前	開通後	差																																				
現道	13,204	753	-12,451																																				
バイパス	—	9,256	—																																				
目	効果分析の要因の変化	<p>再評価(平成27年度)との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 2,070百万円 → 2,194百万円 ・供用年度 平成29年度 → 平成29年度 ・B/C 1.93 → 1.81 																																					
評価結果及び考察	<p>(評価結果)</p> <p>バイパスの整備により、安全で円滑な交通の確保が図られたとともに、災害時の緊急輸送機能の向上が図られた。</p> <p>(対応方針)</p> <p>事業効果は発現しており、事業の有効性が確認されていることから、当事業において改善措置を行う必要性及び今後改めて事後評価を実施する必要性はない。また、事業評価の結果、同種事業の計画調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要はない。</p>																																						
特記事項																																							

